

## ～ も く じ ～

川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業報告 .....	2～3
地域における認知症高齢者の現状 .....	4～6
＜川西市で行われている認知症に関する取り組みと活動の紹介＞	
認知症サポーター養成講座 .....	8
キャラバン・メイト .....	9
認知症カフェ .....	10～13
認知症予防事業(脳活) .....	14～15
認知症初期集中支援チーム .....	16
認知症行方不明者SOSネットワーク訓練.....	17
川西市認知症みまもり登録 .....	18～19
地域ケア会議 .....	20～21
認知症地域支援推進員の役割 .....	22～23
川西市内の地域包括支援センター .....	24

令和2年度 認知症地域資源ネットワーク構築事業報告

項 目	内 容	
推進会議	認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議	認知症の人を支える支援体制構築推進のためニーズを把握し、事業企画・推進状況を管理します。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面報告により1回実施し、令和2年度の市の取り組みと令和3年度の市の方針の報告を行いました。
実態調査 (地区診断)	データの追加及び分析	小学校区単位での認知症の方とその家族への支援を検討するため、令和2年3月末時点の人口動態等のデータをもとに「地域における認知症高齢者の現状」を作成しました。
	認知症ケアネット作成と活用	住民座談会で頂いたご意見をもとに作成した「地域包括型認知症ケアネット」(平成31年3月)の活用方法を検討しました。
認知症の理解普及・啓発	認知症サポーター養成講座1回コース(随時)	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成するため、令和2年度は住民をはじめ、自治会・事業所・公営住宅管理会社に向けて開催しました。
地域支援体制 の推進	みまもり登録の推進と日ごろの見守り靴のステッカーの支給	認知症の人とその家族が安心して生活ができる日常の見守り体制を整えつつ、万が一、登録された方が行方不明になっても、できるだけ早く元の生活に戻れるよう、全市的および各地区の認知症行方不明者SOSネットワークとの連携を進めています。 また、希望者へ靴用ステッカー10足分を支給しました。
	認知症行方不明者SOSネットワークの構築と支援	平成31年3月に「川西行方不明者SOSネット」を開始し、24時間365日体制で行方不明情報を協力者の携帯電話やスマートフォンへ届け、できるだけ早く、行方不明となられた認知症の方を発見するためのものです。
	認知症行方不明者SOSネットワーク訓練	14地区の各々の実態に合わせたネットワーク構築を目指して、それぞれに訓練を行います。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、1地区のみの開催となりました。
	認知症カフェへの支援	認知症カフェでは住民や企業が主体となり、情報交換や勉強会を開催しています。 認知症地域支援推進員が認知症カフェに来られた認知症の方やその家族のニーズに合わせた相談・運営ができるように支援を行いました。
	「りんどうの会」及び認知症カフェ「わか」への支援	若年性認知症の人や介護をしている家族が求めているニーズに沿って、本人・家族等が主体的に運営できるように支援を行っています。 事務局は社会福祉協議会で、毎月第4水曜日に定例開催しています。

項目	内容	
医療・介護の連携	つながりノート連絡会	本人・家族、興味がある市民、医療・介護関係者が参加し、大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室および川西市医師会の医師の皆様のご協力のもと、前半は先生方による高齢者の疾患等のミニレクチャー、後半は「つながりノート」に関すること等の意見交換や情報交換をしています。学びの場としても大変有効な場で、どなたでもご参加いただけます。 また、令和2年度から、川西市在宅医療・介護連携支援センターと川西市中央地域包括支援センターとの共催で実施しています。
	認知症の早期発見・早期対応	毎年4月、6月、8月の特定健診のお知らせに認知症チェックシートを同封し、認知症の早期発見・早期対応のための受診勧奨を行いました。
	認知症初期集中支援チーム	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるように、40歳以上で在宅生活をする認知症が疑われる方に対し、認知症初期集中支援チームが早期診断・早期対応を行いました。
	認知症予防事業	地域包括支援センターごとに実施し、参加者は14回のプログラムを行い、プログラム終了後に自主グループを作ることで認知症予防を図ります。 なお、モデル事業実施以降、参加者が減少したことから、来年度以降の新規グループの立ち上げは行いませんが、介護予防教室などほかの形で実施することを検討しています。
事業報告会	事業報告会	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

## コロナ禍における取り組み

コロナ禍で必要な介護保険サービスの利用も控えるなど、高齢者が外出を自粛するようになったことで懸念されるリスクを防止するために以下の取り組みを行いました。

養護者による高齢者虐待の防止	広報かわにし12月号への特集掲載	高齢者虐待は身近な問題であることをテーマとした特集を掲載しました。 認知症の症状がある人を介護する方の介護負担が大きくなり虐待につながりやすいことや、認知症による介護負担を軽減するための市の取り組みの紹介などを行いました。
	「高齢者のあんしん生活」パンフレット	認知症発症のリスクや高齢者虐待の発生を防止するため、認知症や高齢者虐待、消費者被害についての市民向けパンフレットを作成し、市内地域包括支援センターをはじめ、民生委員、社会福祉協議会(地区福祉委員)、居宅介護支援事業所、消費生活センターに配布しました。
	介護支援専門員向け研修	外部から講師を招き、「介護支援専門員(ケアマネジャー)が高齢者を権利侵害から護るためにできること」をテーマに研修を開催しました。

令和元年度 地域(小学校区・地区福祉委員会)における認知症高齢者の現状

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	久代小校区 久代小地区	加茂小校区 加茂小地区	川西小校区 川西小地区	桜が丘小 校区 桜小地区	川西北小 校区 北小地区
人口	157,080人	9,046人	11,010人	13,699人	8,720人	10,567人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	2,346人 (25.9%)	3,351人 (30.4%)	3,944人 (28.8%)	2,699人 (31.0%)	2,801人 (26.5%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	1,890人 (80.6%)	2,652人 (79.1%)	3,086人 (78.2%)	2,152人 (79.7%)	2,222人 (79.3%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	456人 (19.4%)	699人 (20.9%)	858人 (21.8%)	547人 (20.3%)	579人 (20.7%)
施設入所の要介護者	1,120人	59人	104人	111人	62人	56人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	397人	595人	747人	485人	523人
うち認知症自立	2,855人	130人	181人	262人	194人	193人
うち認知症Ⅰ	1,505人	66人	132人	145人	102人	118人
うち認知症Ⅱa	575人	31人	45人	67人	35人	36人
うち認知症Ⅱb	1,468人	82人	125人	153人	83人	105人
うち認知症Ⅲa	811人	52人	72人	78人	37人	46人
うち認知症Ⅲb	211人	19人	13人	18人	16人	14人
うち認知症Ⅳ	196人	14人	17人	19人	13人	7人
うち認知症M	31人	2人	2人	4人	0人	1人
うち自立度不明	39人	1人	8人	1人	5人	3人
在宅の要支援1	1,925人	75人	137人	173人	135人	129人
うちサービス利用者	1,015人	43人	72人	95人	73人	66人
うちサービス未利用者	910人	32人	65人	78人	62人	63人
在宅の要支援2	1,075人	41人	76人	109人	77人	68人
うちサービス利用者	709人	28人	61人	72人	50人	50人
うちサービス未利用者	366人	13人	15人	37人	27人	18人
在宅の要介護1	1,883人	103人	148人	187人	105人	137人
うちサービス利用者	1,435人	83人	114人	149人	84人	100人
うちサービス未利用者	448人	20人	34人	38人	21人	37人
在宅の要介護2	1,172人	76人	100人	120人	65人	85人
うちサービス利用者	1,012人	67人	92人	111人	58人	70人
うちサービス未利用者	160人	9人	8人	9人	7人	15人
在宅の要介護3	688人	29人	62人	74人	52人	45人
うちサービス利用者	559人	24人	55人	55人	40人	35人
うちサービス未利用者	129人	5人	7人	19人	12人	10人
在宅の要介護4	506人	39人	44人	43人	28人	33人
うちサービス利用者	342人	30人	26人	30人	22人	27人
うちサービス未利用者	164人	9人	18人	13人	6人	6人
在宅の要介護5	442人	34人	28人	41人	23人	26人
うちサービス利用者	256人	23人	16人	22人	16人	15人
うちサービス未利用者	186人	11人	12人	19人	7人	11人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	16人 (0.68人) (0.04人)	17人 (0.51人) (0.03人)	18人 (0.46人) (0.02人)	12人 (0.44人) (0.02人)	15人 (0.54人) (0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	62人 (2.64人) (0.16人)	94人 (2.81人) (0.16人)	60人 (1.52人) (0.08人)	50人 (1.85人) (0.10人)	52人 (1.86人) (0.10人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	15人 (0.64人) (0.04人)	18人 (0.54人) (0.03人)	13人 (0.33人) (0.02人)	12人 (0.44人) (0.02人)	18人 (0.64人) (0.03人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	195人 (8.31人) (0.49人)	93人 (2.78人) (0.16人)	15人 (0.38人) (0.02人)	207人 (7.67人) (0.43人)	28人 (1.00人) (0.05人)

※令和2年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	明峰小校区 明峰小地区	多田小校区 多田地区	多田東小 校区 多田東地区	緑台小・ 陽明小校区 グリーンハイツ 地区	清和台小・ 清和台南小 校区 清和台地区
人口	157,080人	14,871人	10,213人	12,999人	14,100人	12,714人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	4,928人 (33.1%)	2,830人 (27.7%)	3,579人 (27.5%)	5,900人 (41.8%)	4,647人 (36.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	4,181人 (84.8%)	2,349人 (83.0%)	3,004人 (83.9%)	4,789人 (81.2%)	3,904人 (84.0%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	747人 (15.2%)	481人 (17.0%)	575人 (16.1%)	1,111人 (18.8%)	743人 (16.0%)
施設入所の要介護者	1,120人	89人	81人	62人	125人	110人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	658人	400人	513人	986人	633人
うち認知症自立	2,855人	207人	162人	198人	385人	241人
うち認知症Ⅰ	1,505人	139人	72人	103人	180人	129人
うち認知症Ⅱa	575人	54人	30人	28人	71人	51人
うち認知症Ⅱb	1,468人	154人	68人	86人	184人	122人
うち認知症Ⅲa	811人	78人	38人	67人	112人	57人
うち認知症Ⅲb	211人	11人	13人	11人	21人	13人
うち認知症Ⅳ	196人	12人	12人	11人	26人	17人
うち認知症M	31人	3人	2人	3人	3人	2人
うち自立度不明	39人	0人	3人	6人	4人	1人
在宅の要支援1	1,925人	135人	100人	115人	284人	195人
うちサービス利用者	1,015人	59人	54人	61人	146人	102人
うちサービス未利用者	910人	76人	46人	54人	138人	93人
在宅の要支援2	1,075人	104人	68人	85人	140人	71人
うちサービス利用者	709人	62人	39人	53人	92人	44人
うちサービス未利用者	366人	42人	29人	32人	48人	27人
在宅の要介護1	1,883人	180人	115人	115人	214人	169人
うちサービス利用者	1,435人	134人	85人	82人	160人	122人
うちサービス未利用者	448人	46人	30人	33人	54人	47人
在宅の要介護2	1,172人	100人	51人	85人	146人	74人
うちサービス利用者	1,012人	84人	41人	81人	123人	58人
うちサービス未利用者	160人	16人	10人	4人	23人	16人
在宅の要介護3	688人	73人	18人	43人	91人	46人
うちサービス利用者	559人	63人	14人	31人	76人	38人
うちサービス未利用者	129人	10人	4人	12人	15人	8人
在宅の要介護4	506人	33人	24人	40人	60人	42人
うちサービス利用者	342人	24人	13人	26人	35人	30人
うちサービス未利用者	164人	9人	11人	14人	25人	12人
在宅の要介護5	442人	33人	24人	30人	51人	36人
うちサービス利用者	256人	18人	14人	21人	30人	20人
うちサービス未利用者	186人	15人	10人	9人	21人	16人
民生児童委員 (65歳以上の100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	22人 (0.45人) (0.03人)	8人 (0.28人) (0.02人)	18人 (0.50人) (0.04人)	23人 (0.39人) (0.02人)	20人 (0.43人) (0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	90人 (1.83人) (0.14人)	79人 (2.79人) (0.20人)	74人 (2.07人) (0.14人)	185人 (3.14人) (0.19人)	118人 (2.54人) (0.19人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	20人 (0.41人) (0.03人)	27人 (0.95人) (0.07人)	36人 (1.01人) (0.07人)	25人 (0.42人) (0.03人)	30人 (0.65人) (0.05人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	100人 (2.03人) (0.15人)	200人 (7.07人) (0.50人)	96人 (2.68人) (0.19人)	187人 (3.17人) (0.19人)	147人 (3.16人) (0.23人)

令和元年度 地域(小学校区・地区福祉委員会)における認知症高齢者の現状

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	けやき坂小 校区 けやき坂小 地区	東谷小・ 黒川小校区 東谷地区	牧の台小 校区 大和地区	北陵小校区 北陵地区
人口	157,080人	6,850人	13,448人	10,945人	7,898人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	1,529人 (22.3%)	3,823人 (28.4%)	4,533人 (41.4%)	2,155人 (27.3%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	1,291人 (84.4%)	3,199人 (83.7%)	3,669人 (80.9%)	1,866人 (86.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	238人 (15.6%)	624人 (16.3%)	864人 (19.1%)	289人 (13.4%)
施設入所の要介護者	1,120人	25人	100人	104人	32人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	213人	524人	760人	257人
うち認知症自立	2,855人	85人	199人	319人	99人
うち認知症Ⅰ	1,505人	43人	100人	123人	53人
うち認知症Ⅱa	575人	11人	36人	62人	18人
うち認知症Ⅱb	1,468人	51人	92人	119人	44人
うち認知症Ⅲa	811人	10人	58人	87人	19人
うち認知症Ⅲb	211人	7人	20人	22人	13人
うち認知症Ⅳ	196人	5人	15人	18人	10人
うち認知症M	31人	1人	2人	6人	0人
うち自立度不明	39人	0人	2人	4人	1人
在宅の要支援1	1,925人	57人	121人	213人	56人
うちサービス利用者	1,015人	33人	64人	118人	29人
うちサービス未利用者	910人	24人	57人	95人	27人
在宅の要支援2	1,075人	24人	74人	98人	40人
うちサービス利用者	709人	17人	59人	60人	22人
うちサービス未利用者	366人	7人	15人	38人	18人
在宅の要介護1	1,883人	55人	126人	167人	62人
うちサービス利用者	1,435人	42人	100人	135人	45人
うちサービス未利用者	448人	13人	26人	32人	17人
在宅の要介護2	1,172人	45人	74人	112人	39人
うちサービス利用者	1,012人	39人	60人	97人	31人
うちサービス未利用者	160人	6人	14人	15人	8人
在宅の要介護3	688人	14人	49人	69人	23人
うちサービス利用者	559人	11人	41人	55人	21人
うちサービス未利用者	129人	3人	8人	14人	2人
在宅の要介護4	506人	8人	42人	51人	19人
うちサービス利用者	342人	8人	30人	33人	8人
うちサービス未利用者	164人	0人	12人	18人	11人
在宅の要介護5	442人	10人	38人	50人	18人
うちサービス利用者	256人	5人	15人	27人	14人
うちサービス未利用者	186人	5人	23人	23人	4人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	9人 (0.59人) (0.04人)	25人 (0.65人) (0.05人)	14人 (0.31人) (0.02人)	11人 (0.51人) (0.04人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	56人 (3.66人) (0.26人)	83人 (2.17人) (0.16人)	130人 (2.87人) (0.17人)	90人 (4.18人) (0.35人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	23人 (1.50人) (0.11人)	14人 (0.37人) (0.03人)	14人 (0.31人) (0.02人)	18人 (0.84人) (0.07人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	190人 (12.43人) (0.89人)	441人 (11.54人) (0.84人)	30人 (0.66人) (0.04人)	180人 (8.35人) (0.70人)

※令和2年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

川西市で行われている

認知症 に関する

取り組みと活動の紹介

# 認知症サポーター養成講座



認知症サポーターとは認知症の方とその家族を温かく見守る応援者です。認知症について学び、少しお手伝いが出来れば、安心して暮らせる町に変わります。

誰かのために、あるいは自身のために、まずは受講してみませんか？

「認知症」は誰でもかかる可能性がある「脳」の病気です。原因や症状、認知症の人への支援などを学びましょう。



## 【講座の内容】

- ①認知症について学習する。(DVD鑑賞・講義)
  - ②認知症の人やその家族の気持ちについて考える。
  - ③キャラバン・メイトによる寸劇やグループワーク・質疑応答など
- ※全部で90分程度の講習を修了された方には「認知症サポーター」としてオレンジリングをお渡しします。

## 【受講のお問い合わせ先】

各地域包括支援センターまでご相談ください。

## 【受講対象者】

年齢制限や人数制限は特にありません。

学校や地域住民、職域など、ご希望があれば随時開催していきます。



## 講座の開催の様子

感染症対策を万全にして  
多田グリーンハイツで  
開催しました。



## 受講者の感想...

- いろいろ考えさせられる事が多く、勉強になりました。
- これからますます高齢化が進み、認知症の人が増えると思うので認知症の事をよく知っておきたい。地域・近隣とのコミュニティが必要ですね。

# キャラバン・メイト

キャラバン・メイトは「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人です。基本的に認知症サポーター養成講座を修了された方が、所定の養成研修を受講し、キャラバン・メイトとして地域で活躍されています。

## 市内14地区キャラバン・メイトの会

- ・久代小 ・加茂小 ・川西小 ・桜小 ・北小 ・明峰小
- ・多田 ・多田東 ・グリーンハイツ ・けやき坂小
- ・清和台 ・大和 ・東谷 ・北陵

川西市ではおおむね小学校区ごとに、キャラバン・メイトの会が組織されています。その数は市内で14カ所となっており、280名ほどが活動しています。

その活動は、認知症サポーター養成講座の講師役だけにとどまらず、認知症行方不明者SOS訓練の開催、認知症カフェの開催・運営、地域でのみまもり活動など、多岐に渡ります。

令和2年度は、コロナ禍のため、人が多く集まる活動が困難となりました。そんな中でも、例年よりも規模を縮小し、感染対策を講じて、認知症サポーター養成講座や認知症行方不明者SOS訓練などを実施した地区もあります。また、例年の活動ができない中、その分の時間を自分たちの勉強にあて、認知症に対する知識の再確認や深化に努めた地区もあります。みまもり活動にあっては、手紙のやり取りや電話、短時間の訪問で、認知症の方の様子に気を配ることを行なってい

- 3つの地区のキャラバン・メイト代表に、令和2年度を振り返っての感想を聞きました。
- 川西小地区 「例年通りの活動ができない中、その時間を使って、メイトの勉強会を行えたことはよかったですと思います。初心に返ることができました。」
- 桜小地区 「メイトの会議も数回しかできませんでしたし、認知症サポーター養成講座も開くことができませんでした。身動きがとれない1年でした。来年度は自治会や商店に働きかけて、認知症サポーター養成講座を行えたらいいなと思います。」
- 北小地区 「認知症カフェを休まざるを得ない時期がありました。その間もつながりを絶やさないように、訪問や電話や手紙でのみまもり活動を行いました。改めて、認知症の方の変化をすぐにキャッチできるようなみまもりのネットワークが大事だと思いました。」



(キャラバン・メイトの役割のひとつである、認知症サポーター養成講座の様子)

## 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人やその家族、専門職、地域の人など気軽に参加することができ、くつろいだ雰囲気の中で話ができる「集いの場」です。活動の内容は様々ですが、認知症の人やその家族が情報交換するだけでなく、専門職に相談ができ、地域の人との相談の場になっています。

川西市では現在10か所認知症カフェがあります。休止しているカフェもありますが、開催しているところでは、アクリル板の設置や、消毒、換気、二部制に行う等、感染対策をしながら実施しています。コロナ禍の中では、外出する機会が減り、自宅に閉じこもりになりがちです。どのようにしていけば、感染のリスクを減らして継続できるか、また休止しているカフェはいつ再開できるかが、今後の課題となっています。



令和2年8月26日、トナリエ清和台「天使と小さな悪魔のカフェ」内で新しく認知症カフェとして、『ひとやすみカフェ』が開設されました。

企業(商業施設)が立ち上げた初めての認知症カフェで、毎月替わりのフレーバーティーと音楽演奏を楽しむ事ができます。

**\*若年性認知症カフェ『カフェ わっか』**



若年性認知症の方やその家族、医療福祉の専門職も参加しています。  
日々の不安や悩み事を話しあえる場になっています。話を聞くだけでも可能  
ですので、気軽に参加することができます。

\*若年性認知症とは  
65歳未満で発症する認知症。  
認知症は高齢者の病気という  
イメージがありますが、  
年齢が若くても発症する  
ことがあります。



**\*認知症カフェネットワーク連絡会代表より**

今年度は突然のコロナ禍で、多くのカフェは3月から6月までクローズとなり、いつから、どのように再開すべきか悩みました。唯一の朗報は新しい認知症カフェが清和台にオープンし、認知症ネットワーク連絡会に参加されたのを機に、川西市内の認知症カフェを紹介する「認知症カフェマップ」を更新しました。



来年度は長引くコロナ禍でより一層「認知症カフェ」の重要性を再確認し、早期発見や訪問、手紙、電話など新たな取り組みを工夫し「地域とのつながり」を願い、試みたいと思います。今までの福祉委員などによる認知症カフェから、企業とのコラボによるカフェのオープン、薬局主催のカフェ開催予定もあり、多種多様な認知症カフェが「地域包括ケア」の一翼を担うことを期待します。  
そして認知症カフェネットワーク連絡会では、今後も認知症に対する理解の啓もうに努めたいと思います。

\*認知症カフェネットワークとは

認知症への理解、啓発を深め、各認知症カフェの情報交換の場となる為に立ち上げられた連絡会です。

## ～ も く じ ～

川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業報告 .....	2～3
地域における認知症高齢者の現状 .....	4～6
＜川西市で行われている認知症に関する取り組みと活動の紹介＞	
認知症サポーター養成講座 .....	8
キャラバン・メイト .....	9
認知症カフェ .....	10～13
認知症予防事業(脳活) .....	14～15
認知症初期集中支援チーム .....	16
認知症行方不明者SOSネットワーク訓練.....	17
川西市認知症みまもり登録 .....	18～19
地域ケア会議 .....	20～21
認知症地域支援推進員の役割 .....	22～23
川西市内の地域包括支援センター .....	24

令和2年度 認知症地域資源ネットワーク構築事業報告

項 目	内 容	
推進会議	認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議	認知症の人を支える支援体制構築推進のためニーズを把握し、事業企画・推進状況を管理します。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面報告により1回実施し、令和2年度の市の取り組みと令和3年度の市の方針の報告を行いました。
実態調査 (地区診断)	データの追加及び分析	小学校区単位での認知症の方とその家族への支援を検討するため、令和2年3月末時点の人口動態等のデータをもとに「地域における認知症高齢者の現状」を作成しました。
	認知症ケアネット作成と活用	住民座談会で頂いたご意見をもとに作成した「地域包括型認知症ケアネット」(平成31年3月)の活用方法を検討しました。
認知症の理解普及・啓発	認知症サポーター養成講座1回コース(随時)	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成するため、令和2年度は住民をはじめ、自治会・事業所・公営住宅管理会社に向けて開催しました。
地域支援体制 の推進	みまもり登録の推進と日ごろの見守り靴のステッカーの支給	認知症の人とその家族が安心して生活ができる日常の見守り体制を整えつつ、万が一、登録された方が行方不明になっても、できるだけ早く元の生活に戻れるよう、全市的および各地区の認知症行方不明者SOSネットワークとの連携を進めています。 また、希望者へ靴用ステッカー10足分を支給しました。
	認知症行方不明者SOSネットワークの構築と支援	平成31年3月に「川西行方不明者SOSネット」を開始し、24時間365日体制で行方不明情報を協力者の携帯電話やスマートフォンへ届け、できるだけ早く、行方不明となられた認知症の方を発見するためのものです。
	認知症行方不明者SOSネットワーク訓練	14地区の各々の実態に合わせたネットワーク構築を目指して、それぞれに訓練を行います。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、1地区のみの開催となりました。
	認知症カフェへの支援	認知症カフェでは住民や企業が主体となり、情報交換や勉強会を開催しています。 認知症地域支援推進員が認知症カフェに来られた認知症の方やその家族のニーズに合わせた相談・運営ができるように支援を行いました。
	「りんどうの会」及び認知症カフェ「わか」への支援	若年性認知症の人や介護をしている家族が求めているニーズに沿って、本人・家族等が主体的に運営できるように支援を行っています。 事務局は社会福祉協議会で、毎月第4水曜日に定例開催しています。

項目	内容	
医療・介護の連携	つながりノート連絡会	本人・家族、興味がある市民、医療・介護関係者が参加し、大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室および川西市医師会の医師の皆様のご協力のもと、前半は先生方による高齢者の疾患等のミニレクチャー、後半は「つながりノート」に関すること等の意見交換や情報交換をしています。学びの場としても大変有効な場で、どなたでもご参加いただけます。 また、令和2年度から、川西市在宅医療・介護連携支援センターと川西市中央地域包括支援センターとの共催で実施しています。
	認知症の早期発見・早期対応	毎年4月、6月、8月の特定健診のお知らせに認知症チェックシートを同封し、認知症の早期発見・早期対応のための受診勧奨を行いました。
	認知症初期集中支援チーム	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるように、40歳以上で在宅生活をする認知症が疑われる方に対し、認知症初期集中支援チームが早期診断・早期対応を行いました。
	認知症予防事業	地域包括支援センターごとに実施し、参加者は14回のプログラムを行い、プログラム終了後に自主グループを作ることで認知症予防を図ります。 なお、モデル事業実施以降、参加者が減少したことから、来年度以降の新規グループの立ち上げは行いませんが、介護予防教室などほかの形で実施することを検討しています。
事業報告会	事業報告会	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

### コロナ禍における取り組み

コロナ禍で必要な介護保険サービスの利用も控えるなど、高齢者が外出を自粛するようになったことで懸念されるリスクを防止するために以下の取り組みを行いました。

養護者による高齢者虐待の防止	広報かわにし12月号への特集掲載	高齢者虐待は身近な問題であることをテーマとした特集を掲載しました。 認知症の症状がある人を介護する方の介護負担が大きくなり虐待につながりやすいことや、認知症による介護負担を軽減するための市の取り組みの紹介などを行いました。
	「高齢者のあんしん生活」パンフレット	認知症発症のリスクや高齢者虐待の発生を防止するため、認知症や高齢者虐待、消費者被害についての市民向けパンフレットを作成し、市内地域包括支援センターをはじめ、民生委員、社会福祉協議会(地区福祉委員)、居宅介護支援事業所、消費生活センターに配布しました。
	介護支援専門員向け研修	外部から講師を招き、「介護支援専門員(ケアマネジャー)が高齢者を権利侵害から護るためにできること」をテーマに研修を開催しました。

令和元年度 地域(小学校区・地区福祉委員会)における認知症高齢者の現状

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	久代小校区 久代小地区	加茂小校区 加茂小地区	川西小校区 川西小地区	桜が丘小 校区 桜小地区	川西北小 校区 北小地区
人口	157,080人	9,046人	11,010人	13,699人	8,720人	10,567人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	2,346人 (25.9%)	3,351人 (30.4%)	3,944人 (28.8%)	2,699人 (31.0%)	2,801人 (26.5%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	1,890人 (80.6%)	2,652人 (79.1%)	3,086人 (78.2%)	2,152人 (79.7%)	2,222人 (79.3%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	456人 (19.4%)	699人 (20.9%)	858人 (21.8%)	547人 (20.3%)	579人 (20.7%)
施設入所の要介護者	1,120人	59人	104人	111人	62人	56人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	397人	595人	747人	485人	523人
うち認知症自立	2,855人	130人	181人	262人	194人	193人
うち認知症Ⅰ	1,505人	66人	132人	145人	102人	118人
うち認知症Ⅱa	575人	31人	45人	67人	35人	36人
うち認知症Ⅱb	1,468人	82人	125人	153人	83人	105人
うち認知症Ⅲa	811人	52人	72人	78人	37人	46人
うち認知症Ⅲb	211人	19人	13人	18人	16人	14人
うち認知症Ⅳ	196人	14人	17人	19人	13人	7人
うち認知症M	31人	2人	2人	4人	0人	1人
うち自立度不明	39人	1人	8人	1人	5人	3人
在宅の要支援1	1,925人	75人	137人	173人	135人	129人
うちサービス利用者	1,015人	43人	72人	95人	73人	66人
うちサービス未利用者	910人	32人	65人	78人	62人	63人
在宅の要支援2	1,075人	41人	76人	109人	77人	68人
うちサービス利用者	709人	28人	61人	72人	50人	50人
うちサービス未利用者	366人	13人	15人	37人	27人	18人
在宅の要介護1	1,883人	103人	148人	187人	105人	137人
うちサービス利用者	1,435人	83人	114人	149人	84人	100人
うちサービス未利用者	448人	20人	34人	38人	21人	37人
在宅の要介護2	1,172人	76人	100人	120人	65人	85人
うちサービス利用者	1,012人	67人	92人	111人	58人	70人
うちサービス未利用者	160人	9人	8人	9人	7人	15人
在宅の要介護3	688人	29人	62人	74人	52人	45人
うちサービス利用者	559人	24人	55人	55人	40人	35人
うちサービス未利用者	129人	5人	7人	19人	12人	10人
在宅の要介護4	506人	39人	44人	43人	28人	33人
うちサービス利用者	342人	30人	26人	30人	22人	27人
うちサービス未利用者	164人	9人	18人	13人	6人	6人
在宅の要介護5	442人	34人	28人	41人	23人	26人
うちサービス利用者	256人	23人	16人	22人	16人	15人
うちサービス未利用者	186人	11人	12人	19人	7人	11人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	16人 (0.68人) (0.04人)	17人 (0.51人) (0.03人)	18人 (0.46人) (0.02人)	12人 (0.44人) (0.02人)	15人 (0.54人) (0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	62人 (2.64人) (0.16人)	94人 (2.81人) (0.16人)	60人 (1.52人) (0.08人)	50人 (1.85人) (0.10人)	52人 (1.86人) (0.10人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	15人 (0.64人) (0.04人)	18人 (0.54人) (0.03人)	13人 (0.33人) (0.02人)	12人 (0.44人) (0.02人)	18人 (0.64人) (0.03人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	195人 (8.31人) (0.49人)	93人 (2.78人) (0.16人)	15人 (0.38人) (0.02人)	207人 (7.67人) (0.43人)	28人 (1.00人) (0.05人)

※令和2年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	明峰小校区 明峰小地区	多田小校区 多田地区	多田東小 校区 多田東地区	緑台小・ 陽明小校区 グリーンハイツ 地区	清和台小・ 清和台南小 校区 清和台地区
人口	157,080人	14,871人	10,213人	12,999人	14,100人	12,714人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	4,928人 (33.1%)	2,830人 (27.7%)	3,579人 (27.5%)	5,900人 (41.8%)	4,647人 (36.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	4,181人 (84.8%)	2,349人 (83.0%)	3,004人 (83.9%)	4,789人 (81.2%)	3,904人 (84.0%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	747人 (15.2%)	481人 (17.0%)	575人 (16.1%)	1,111人 (18.8%)	743人 (16.0%)
施設入所の要介護者	1,120人	89人	81人	62人	125人	110人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	658人	400人	513人	986人	633人
うち認知症自立	2,855人	207人	162人	198人	385人	241人
うち認知症Ⅰ	1,505人	139人	72人	103人	180人	129人
うち認知症Ⅱa	575人	54人	30人	28人	71人	51人
うち認知症Ⅱb	1,468人	154人	68人	86人	184人	122人
うち認知症Ⅲa	811人	78人	38人	67人	112人	57人
うち認知症Ⅲb	211人	11人	13人	11人	21人	13人
うち認知症Ⅳ	196人	12人	12人	11人	26人	17人
うち認知症M	31人	3人	2人	3人	3人	2人
うち自立度不明	39人	0人	3人	6人	4人	1人
在宅の要支援1	1,925人	135人	100人	115人	284人	195人
うちサービス利用者	1,015人	59人	54人	61人	146人	102人
うちサービス未利用者	910人	76人	46人	54人	138人	93人
在宅の要支援2	1,075人	104人	68人	85人	140人	71人
うちサービス利用者	709人	62人	39人	53人	92人	44人
うちサービス未利用者	366人	42人	29人	32人	48人	27人
在宅の要介護1	1,883人	180人	115人	115人	214人	169人
うちサービス利用者	1,435人	134人	85人	82人	160人	122人
うちサービス未利用者	448人	46人	30人	33人	54人	47人
在宅の要介護2	1,172人	100人	51人	85人	146人	74人
うちサービス利用者	1,012人	84人	41人	81人	123人	58人
うちサービス未利用者	160人	16人	10人	4人	23人	16人
在宅の要介護3	688人	73人	18人	43人	91人	46人
うちサービス利用者	559人	63人	14人	31人	76人	38人
うちサービス未利用者	129人	10人	4人	12人	15人	8人
在宅の要介護4	506人	33人	24人	40人	60人	42人
うちサービス利用者	342人	24人	13人	26人	35人	30人
うちサービス未利用者	164人	9人	11人	14人	25人	12人
在宅の要介護5	442人	33人	24人	30人	51人	36人
うちサービス利用者	256人	18人	14人	21人	30人	20人
うちサービス未利用者	186人	15人	10人	9人	21人	16人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	22人 (0.45人) (0.03人)	8人 (0.28人) (0.02人)	18人 (0.50人) (0.04人)	23人 (0.39人) (0.02人)	20人 (0.43人) (0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	90人 (1.83人) (0.14人)	79人 (2.79人) (0.20人)	74人 (2.07人) (0.14人)	185人 (3.14人) (0.19人)	118人 (2.54人) (0.19人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	20人 (0.41人) (0.03人)	27人 (0.95人) (0.07人)	36人 (1.01人) (0.07人)	25人 (0.42人) (0.03人)	30人 (0.65人) (0.05人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	100人 (2.03人) (0.15人)	200人 (7.07人) (0.50人)	96人 (2.68人) (0.19人)	187人 (3.17人) (0.19人)	147人 (3.16人) (0.23人)

令和元年度 地域(小学校区・地区福祉委員会)における認知症高齢者の現状

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	けやき坂小 校区 けやき坂小 地区	東谷小・ 黒川小校区 東谷地区	牧の台小 校区 大和地区	北陵小校区 北陵地区
人口	157,080人	6,850人	13,448人	10,945人	7,898人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,065人 (31.2%)	1,529人 (22.3%)	3,823人 (28.4%)	4,533人 (41.4%)	2,155人 (27.3%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	40,254人 (82.0%)	1,291人 (84.4%)	3,199人 (83.7%)	3,669人 (80.9%)	1,866人 (86.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	8,811人 (18.0%)	238人 (15.6%)	624人 (16.3%)	864人 (19.1%)	289人 (13.4%)
施設入所の要介護者	1,120人	25人	100人	104人	32人
在宅の要支援・要介護認 定者	7,691人	213人	524人	760人	257人
うち認知症自立	2,855人	85人	199人	319人	99人
うち認知症Ⅰ	1,505人	43人	100人	123人	53人
うち認知症Ⅱa	575人	11人	36人	62人	18人
うち認知症Ⅱb	1,468人	51人	92人	119人	44人
うち認知症Ⅲa	811人	10人	58人	87人	19人
うち認知症Ⅲb	211人	7人	20人	22人	13人
うち認知症Ⅳ	196人	5人	15人	18人	10人
うち認知症M	31人	1人	2人	6人	0人
うち自立度不明	39人	0人	2人	4人	1人
在宅の要支援1	1,925人	57人	121人	213人	56人
うちサービス利用者	1,015人	33人	64人	118人	29人
うちサービス未利用者	910人	24人	57人	95人	27人
在宅の要支援2	1,075人	24人	74人	98人	40人
うちサービス利用者	709人	17人	59人	60人	22人
うちサービス未利用者	366人	7人	15人	38人	18人
在宅の要介護1	1,883人	55人	126人	167人	62人
うちサービス利用者	1,435人	42人	100人	135人	45人
うちサービス未利用者	448人	13人	26人	32人	17人
在宅の要介護2	1,172人	45人	74人	112人	39人
うちサービス利用者	1,012人	39人	60人	97人	31人
うちサービス未利用者	160人	6人	14人	15人	8人
在宅の要介護3	688人	14人	49人	69人	23人
うちサービス利用者	559人	11人	41人	55人	21人
うちサービス未利用者	129人	3人	8人	14人	2人
在宅の要介護4	506人	8人	42人	51人	19人
うちサービス利用者	342人	8人	30人	33人	8人
うちサービス未利用者	164人	0人	12人	18人	11人
在宅の要介護5	442人	10人	38人	50人	18人
うちサービス利用者	256人	5人	15人	27人	14人
うちサービス未利用者	186人	5人	23人	23人	4人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	228人 (0.46人) (0.03人)	9人 (0.59人) (0.04人)	25人 (0.65人) (0.05人)	14人 (0.31人) (0.02人)	11人 (0.51人) (0.04人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	1,223人 (2.49人) (0.16人)	56人 (3.66人) (0.26人)	83人 (2.17人) (0.16人)	130人 (2.87人) (0.17人)	90人 (4.18人) (0.35人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	283人 (0.58人) (0.04人)	23人 (1.50人) (0.11人)	14人 (0.37人) (0.03人)	14人 (0.31人) (0.02人)	18人 (0.84人) (0.07人)
新規認知症サポーター数 (65歳以上の人100人当たり) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	2,109人 (4.30人) (0.27人)	190人 (12.43人) (0.89人)	441人 (11.54人) (0.84人)	30人 (0.66人) (0.04人)	180人 (8.35人) (0.70人)

※令和2年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

川西市で行われている

認知症 に関する

取り組みと活動の紹介

# 認知症サポーター養成講座



認知症サポーターとは認知症の方とその家族を温かく見守る応援者です。認知症について学び、少しお手伝いが出来れば、安心して暮らせる町に変わります。

誰かのために、あるいは自身のために、まずは受講してみませんか？

「認知症」は誰でもかかる可能性がある「脳」の病気です。原因や症状、認知症の人への支援などを学びましょう。



## 【講座の内容】

- ①認知症について学習する。(DVD鑑賞・講義)
  - ②認知症の人やその家族の気持ちについて考える。
  - ③キャラバン・メイトによる寸劇やグループワーク・質疑応答など
- ※全部で90分程度の講習を修了された方には「認知症サポーター」としてオレンジリングをお渡しします。

## 【受講のお問い合わせ先】

各地域包括支援センターまでご相談ください。

## 【受講対象者】

年齢制限や人数制限は特にありません。

学校や地域住民、職域など、ご希望があれば随時開催していきます。



## 講座の開催の様子

感染症対策を万全にして多田グリーンハイツで開催しました。



## 受講者の感想...

- いろいろ考えさせられる事が多く、勉強になりました。
- これからますます高齢化が進み、認知症の人が増えると思うので認知症の事をよく知っておきたい。地域・近隣とのコミュニティが必要ですね。

# キャラバン・メイト

キャラバン・メイトは「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人です。基本的に認知症サポーター養成講座を修了された方が、所定の養成研修を受講し、キャラバン・メイトとして地域で活躍されています。

## 市内14地区キャラバン・メイトの会

- ・久代小 ・加茂小 ・川西小 ・桜小 ・北小 ・明峰小
- ・多田 ・多田東 ・グリーンハイツ ・けやき坂小
- ・清和台 ・大和 ・東谷 ・北陵

川西市ではおおむね小学校区ごとに、キャラバン・メイトの会が組織されています。その数は市内で14カ所となっており、280名ほどが活動しています。

その活動は、認知症サポーター養成講座の講師役だけにとどまらず、認知症行方不明者SOS訓練の開催、認知症カフェの開催・運営、地域でのみまもり活動など、多岐に渡ります。

令和2年度は、コロナ禍のため、人が多く集まる活動が困難となりました。そんな中でも、例年よりも規模を縮小し、感染対策を講じて、認知症サポーター養成講座や認知症行方不明者SOS訓練などを実施した地区もあります。また、例年の活動ができない中、その分の時間を自分たちの勉強にあて、認知症に対する知識の再確認や深化に努めた地区もあります。みまもり活動にあっては、手紙のやり取りや電話、短時間の訪問で、認知症の方の様子に気を配ることを行なってい

- 3つの地区のキャラバン・メイト代表に、令和2年度を振り返っての感想を聞きました。
- 川西小地区 「例年通りの活動ができない中、その時間を使って、メイトの勉強会を行えたことはよかったですと思います。初心に返ることができました。」
- 桜小地区 「メイトの会議も数回しかできませんでしたし、認知症サポーター養成講座も開くことができませんでした。身動きがとれない1年でした。来年度は自治会や商店に働きかけて、認知症サポーター養成講座を行えたらいいなと思います。」
- 北小地区 「認知症カフェを休まざるを得ない時期がありました。その間もつながりを絶やさないように、訪問や電話や手紙でのみまもり活動を行いました。改めて、認知症の方の変化をすぐにキャッチできるようなみまもりのネットワークが大事だと思いました。」



(キャラバン・メイトの役割のひとつである、認知症サポーター養成講座の様子)

## 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人やその家族、専門職、地域の人など気軽に参加することができ、くつろいだ雰囲気の中で話ができる「集いの場」です。活動の内容は様々ですが、認知症の人やその家族が情報交換するだけでなく、専門職に相談ができ、地域の人との相談の場になっています。

川西市では現在10か所認知症カフェがあります。休止しているカフェもありますが、開催しているところでは、アクリル板の設置や、消毒、換気、二部制にして行う等、感染対策をしながら実施しています。コロナ禍の中では、外出する機会が減り、自宅に閉じこもりになりがちです。どのようにしていけば、感染のリスクを減らして継続できるか、また休止しているカフェはいつ再開できるかが、今後の課題となっています。



令和2年8月26日、トナリエ清和台「天使と小さな悪魔のカフェ」内で新しく認知症カフェとして、『ひとやすみカフェ』が開設されました。

企業(商業施設)が立ち上げた初めての認知症カフェで、毎月替わりのフレーバーティーと音楽演奏を楽しむ事ができます。

**\*若年性認知症カフェ『カフェ わっか』**



若年性認知症の方やその家族、医療福祉の専門職も参加しています。  
日々の不安や悩み事を話しあえる場になっています。話を聞くだけでも可能  
ですので、気軽に参加することができます。

\*若年性認知症とは  
65歳未満で発症する認知症。  
認知症は高齢者の病気という  
イメージがありますが、  
年齢が若くても発症する  
ことがあります。



**\*認知症カフェネットワーク連絡会代表より**

今年度は突然のコロナ禍で、多くのカフェは3月から6月までクローズとなり、いつから、どのように再開すべきか悩みました。唯一の朗報は新しい認知症カフェが清和台にオープンし、認知症ネットワーク連絡会に参加されたのを機に、川西市内の認知症カフェを紹介する「認知症カフェマップ」を更新しました。



来年度は長引くコロナ禍でより一層「認知症カフェ」の重要性を再確認し、早期発見や訪問、手紙、電話など新たな取り組みを工夫し「地域とのつながり」を願い、試みたいと思います。今までの福祉委員などによる認知症カフェから、企業とのコラボによるカフェのオープン、薬局主催のカフェ開催予定もあり、多種多様な認知症カフェが「地域包括ケア」の一翼を担うことを期待します。  
そして認知症カフェネットワーク連絡会では、今後も認知症に対する理解の啓もうに努めたいと思います。

**\*認知症カフェネットワークとは**

認知症への理解、啓発を深め、各認知症カフェの情報交換の場となる為に立ち上げられた連絡会です。

# 川西市 認知症カフェマップ

令和2年11月1日 現在

## ★認知症カフェとは★

認知症の方や介護する方も、ゆっくりとくつろげる**居場所**です。また、医療・福祉・地域の**つながり**を特徴としており、**地域らしさ**を活かして自分たちで**作るカフェ**を目指しています。どなたでも好きなカフェに参加してください。



名称	日時	場所	参加費	連絡先	駐車場	コメント
① かいごカフェ	毎月15日 13:30~15:30 (8月休み)	大和第2自治会館 (大和西2-4-12)	100円	795-2941 (大和地区 福祉委員会)	3,4台	ゆっくり、ほっこり、すっきりの お茶べりカフェ
② ふらっと・b	毎月第3木曜日 13:30~15:30 (祝日休み)	プラザひがしたに1F 東谷公民館敷地内 (見野2-21-11)	100円	795-3321	有	ふらっと来て、人と出会い、自分と出 会うつながり、広がるふらっとホーム
③ オレンジカフェ	毎月第2土曜日 13:30~15:30	居場所いこい 第二自治会館の隣 (緑台6-1-79)	100円	792-4411	有	ネェ〜行こうよ!! 居場所「いこい」
④ 『和』カフェ	毎月第2日曜日 13:30~15:30	清和苑 (清和台東2-4-32)	100円	799-6200	有	「和」カフェで日曜の午後ほっとでき るひとときを共に過ごしましょう♪
⑤ ひとやすみカフェ	毎月第4水曜日 (12月は休み) 13:30~15:00	トナリエ清和台2F 「天使と小さな悪魔 のカフェ」 (清和台東3-1-8)	100円	799-0201	有	おひとりで時間を過ごされている方、 子育てをされている方、どなたでも「ホ ッ」とひとやすみにお立ち寄りくださ い!
⑥ ももちゃんカフェ	毎月第2月曜日 13:00~15:00	交流会館「けやき」 (けやき坂2-62-1) *けやき坂公民館 駐車場横	100円 (コーヒー、 抹茶代)	090-3629-8497 (山本) 080-2428-1201 (山口)	有	一人ではないのよ 「ももちゃんカフェ」に遊びに来て!
⑦ ~笑顔あふれる~ 認知症カフェ オランジュ多田	毎月第3火曜日 13:30~15:30	多田公民館 2階集会室 (多田院1-5-1)	100円	090-7111-1014 (吉永) 090-1027-1768 (布施)	数台	
⑧ ものわすれカフェ	毎月第2水曜日 13:30~15:30 (8月休み)	北小地区 コミュニティプラザ 萩原会館 (丸の内町14-11)	100円	776-5321	有	忘れてもいいじゃない 元気と笑顔のおすそわけ
⑨ カフェわっか (若年性認知症)	毎月第4水曜日 13:00~15:00	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 (火打1-12-16)	なし	759-5200 (事務局社協内)	有	鳴らしてくださいあなたの音色 わになりましょう わのまちかわにし
⑩ 南花屋敷の風 「月見草クラブ」	毎月第1・3火曜日 14:00~16:00	田川宅 (南花屋敷4-7-10)	300円	757-7293	無	認知症予防を主な目的とした集い



## 脳活



### 【目的・内容】

脳活はウォーキングの有酸素運動と知的活動（料理・旅行・パソコンの中から自分の選んだもの一つ）をグループで週1回全14回継続的に行うことで、予防を含めた認知症の発症を遅らせることを目的とした取り組みの活動です。

14回終了後は参加された方の意思で自主活動をしていただき、継続することができます。今まで脳活に参加された方は住み慣れた地域で新たな楽しみや社会とのつながりが増え、尊厳を守りつつお互いが助け合っていきいきと暮らしておられます。そのように自分の住み慣れた地域で楽しみをもって暮らし続けられることを目的としています。

川西市では 27 グループが自主活動をされています。コロナ禍の中でもそれぞれのグループが工夫をして活動されました。

料理の《今が旬》グループでは調理に制限があったため、代わりにマスク作りやキーケース作りなど裁縫の活動をされました。みんなで一緒にの時を持つことは楽しいと話されます。



旅行の《とんぼ》グループでは公共交通機関を使うことのリスクを感じられ、旅行の実施は断念されましたが、来春に向けての候補地選定や年間スケジュールをみんなで検討されました。また日々の生活でのウォーキングの取り組みや旅行に行けない期間は予防のために取り組んでいることなどグループ内で報告されました。個人の取り組みの報告では、庭で畑をするために隣人からの助言などを取り入れ、つながりを持っていくことの大切さを実感されました。

パソコンの《明峰ハイテク》グループはカメラの写真をエクセルに取りこみ、詩・俳句に写真を貼り付けた作品を作成されています。今後、明峰のホームページのコラムなどに載せたいという提案や、他グループとの交流会への参加を希望するなどつながりの大切さを意識して過ごされています。Wi-Fiがないので解散を考えられたこともありましたが、やっぱり仲間と離れるのは寂しいと活動継続中です。



鉄道唱歌

鉄道唱歌 山陽・九州編



- 1 夏なお寒き布引の 滝の響きを後にして  
神戸の里を立ち出ずる 山陽線路の汽車の道
- 2 兵庫・高取・須磨の浦 名所旧跡数多し  
平家の若武者敦盛が 打たれし跡もこと聞く
- 3 その最後まで携えし 青葉の笛は須磨寺に  
今も残りにて宝物の 中にあるこそ哀れなれ
- 4 九郎判官義経が 敵陣めがけて落としたり  
鶴越や一の谷 皆この名所の内ぞかし
- 5 舞子の松の木の間より 間近く見ゆる淡路島  
夜は岩屋の灯台も 手に取るごとく影あかし
- 6 明石の浦の風景を 歌に読みたる人麿の  
社はこれか島隠れ 漕ぎゆく船も面白や
- 7 加古川降りて旅人の 立ち寄る影は高砂の  
松の嵐に伝える 鐘も名高き尾上寺
- 8 阿弥陀は寺の音に聞き 姫路は城の名に響く  
ここより支線に乗り換えて 行けば生野は二時間余

露流山あいの朝しずかなり鶯  
の声澄みて聞こゆる  
葦草履編んでもらふが嬉しく  
て重き砵で葦を打った日



旅行《いざよい》グループでは、公共交通機関を利用して旅行していましたが、今年は外にもなかなか行けないため、室内で感染防止対策を行い、活動されていました。

お口の体操・鉄道唱歌・そろばん等、メンバー内でプログラムを考えながら行なっています。参加している方には毎回一言二言は話ができるように心がけており、人との繋がりを大切に和やかに活動されています。

お口の体操



～はっきり読みエクササイズ～

表情筋全体を鍛えると代謝がよくなります。できるだけ大きな口を開けて1音ずつはっきり読みゆっくり大きな声で3回繰り返しましょう！

ありさんあつまれアイウエオア  
かにさんかさこそかきクケコカ  
さかだちさかさまサシスセソサ  
たのしいたごあげタチツテトタ  
ならんでなわとびナニヌネノナ

## 認知症初期集中支援チーム

認知症の人やその家族に対して、認知症かどうか診断のため受診を促したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、認知症の専門知識をもった看護師・社会福祉士などのチーム員がご自宅に訪問して、お困りごとを伺い、一緒に解決策を考えるなど一定期間（おおむね6ヶ月以内）集中的に支援するチームのことで



川西市のチーム員は7名（認知症サポート医、介護福祉士、保健師、看護師）で構成しています。

支援対象となる方は、40歳以上の自宅で生活をしている認知症の方や認知症が疑われる方で、①～③のいずれかに該当される方です。

- ①認知症の診断を受けていない方や治療を中断している方
- ②適切な医療サービス・介護サービスを受けていない方
- ③医療サービス、介護サービスを利用していても症状が悪化し対応に悩んでいる方

認知症は完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができます。

### 「早期発見の3つのメリット」

- ①早期治療で症状の改善が可能なものがあります
- ②進行を遅らせることが可能な場合もあります
- ③症状が軽い段階から今後の生活の備えをすることができます

認知症についてご相談がある方は、まずはお住まいの地区の地域包括支援センターにご相談ください！



## 認知症行方不明者SOSネットワーク訓練

もし、認知症の家族や知人が自宅に帰ってこなかった時、まちで不安そうな高齢者を見かけた時、あなたならどうしますか？

認知症行方不明者SOSネットワーク訓練は、認知症高齢者等とその家族が安心して暮らせるまちづくりの一環として、認知症の高齢者が行方不明になったと想定して、捜索・声かけの訓練を行います。

実際に近い場面を模した訓練を行い、認知症の人への声かけのポイントを学ぶことで、いざという時に慌てずに適切に行動できるようになっていきます。

川西市では、14地区の各々の実態に合わせて、それぞれに訓練を行っています。



今年は、密をさけるため、少人数で  
外(公園)で行いました！  
(多田地区)

### 【参加者の感想】

- ・年に1回行っていますが、声かけは難しいです。
- ・動き回っている人に対しては歩幅を合わせることが大事だと思いました。
- ・このような訓練を多くの人に知ってもらうことで認知症にやさしいまちになると思います。



### 認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

普段からのあいさつや声かけを行うことも大切です。日常的にさりげない言葉かけを心がけることは、いざという時の適確な対応に役立ちます。

まずはあいさつから始めましょう！

# 川西市認知症みまもり登録

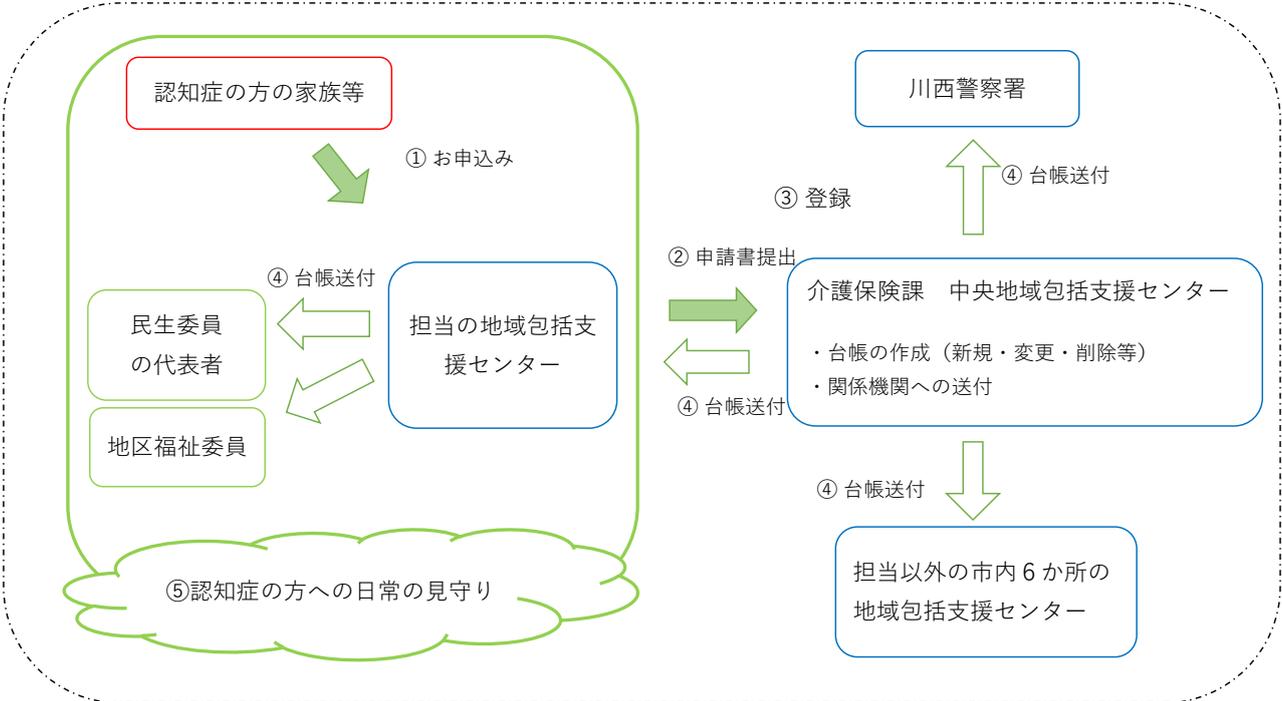
川西市認知症みまもり登録は、認知症により行方不明になる可能性のある方が

①住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、お住まいの地域の協力のもと、日々の見守りをします。

②万が一、ご本人が行方不明になられた場合は、お住まいの地区(概ね小学校区単位)の民生委員や地区福祉委員、キャラバンメイト代表等で構成される【川西行方不明者SOSネットワーク】が川西警察署と連携し、早期発見につなげられるように支援するものです。

「まだ近所の方には言いたくない」という方は、万が一の時だけの申込も可能です。

## 川西市認知症みまもり登録の関係図



万が一、行方不明になってしまったら・・・

できるだけ早く110番を！！

川西警察署に「捜索願い」を提出してください。（別紙、川西警察のチラシをご参照ください。）  
川西認知症行方不明者SOSネットワークが警察と連携し捜索します。

<お問い合わせ先>    川西市中央地域包括支援センター    ☎ 755-7581

## 令和元年度 新規認知症みまもり登録状況

単位：人

小学校区	実登録者数		※（別掲） 令和元年度 新規登録者数
		（再掲） 見守り希望者数	
久代	12	10	4
加茂	18	16	2
川西	15	11	6
桜が丘	15	10	4
川西北	23	10	4
明峰	15	11	6
多田	16	16	10
多田東	20	12	8
緑台・陽明	13	7	7
清和台	22	10	9
けやき坂	3	2	1
東谷・黒川	15	8	1
牧の台	14	8	1
北陵	5	1	2
合計	206	132	65

※ 当年度内に新規登録された後、削除された方も含む

## 地域ケア会議

地域ケア会議は、地域における課題の解決策を検討する場です。高齢者個人に対する支援の充実を図るため、専門職だけでなく、地域住民も一緒に考えます。

会議を積み重ねることにより、地域の課題が見えてきて、住みよい地域、住みよい川西市になるようにつなげていきます。

### 相談事例…

#### 家族の思い



認知症のお父さんが出掛けないようにずっと見張っているのは大変だし、ずっと家にいると、お父さんもストレスになります。近所にはお父さんの事を話してはいるんですが、皆さんの負担になるのはちょっと…

#### 本人の思い



道に迷ったようだが、家に居てたら退屈。今まで通り散歩に出かけたい。



川西市認知症みまもり登録に登録してみてもいいですか。  
地域ケア会議で、地域での日々のみまもりを通じて、安心して生活が送られるように一緒に考えていくこともできますよ。

**地域ケア会議は、地域包括支援センターが主催し、本人に関わりのある方々が集まり、みんなで出来ること等を話し合います。**

明峰地域包括支援センター主催の地域ケア会議の写真です。

マスク、フェイスシールドなどで感染予防をしながら開催しました。



## 例えば『みまもり登録』についての話し合いでは…？

### 通学路見守り ボランティア

「通学コースの横断歩道で旗振りしているの、見かけたら声をかけますね。」



### デイサービス

「地域でのご様子がよく分かりました。」



### 医療機関

「通院されているので、お顔を知っています。ケアマネさんも分かったのでこれからは連携します。」



### キャラバンメイトや民生委員

「奥さんもしんどい時は声をかけて下さいね。」



「いきいき百歳体操の仲間が多いし、それに皆さんお二人に会いたがっていますよ。」

### 地域の仲間



### 昔からの飲み友達

「デイサービスの無い日に顔を出すようにする。」



「レジで困っている時があり、お手伝いしています。」  
「これからも声かけします。」

### お店



### ケアマネジャー

「地域でのご本人の過ごし方がわかりました。」



## 地域ケア会議後の本人と家族の気持ち…



- ・「お父さんが一人で出かけた時、行方不明になるかも。」と不安を抱え、気が抜けない生活を送っていたが、地域の協力のもとで大好きな散歩を続けられることが分かった。
- ・お父さんが一人で外出しても、地域の方々が気軽に声をかけられる関係性ができた。
- ・こんなに沢山の人が、お父さんに関わって考えてくれていたことが分かり嬉しかった。
- ・困った時やしんどい時には地域に相談できる人がいることがわかった。

個別の地域ケア会議を開催し積み重ねることで、同じ様な共通した困りごとが見えてきます。それは、他人ごとではなく自分にも起こり得る困りごとかもしれません。みんなで協力し合い、住みやすいまちになるように一緒に地域を作っていきましょう。

## 認知症地域支援推進員の役割

「認知症になっても大丈夫！」

って言える まち に♪

### 「認知症」の正しい知識や情報を伝える

私たちひとり一人が認知症に負の印象を抱くことは、認知症になることや、認知症であることへの否定的な先入観、偏見が社会に広まってしまうことにつながります。

そういった偏見は、認知症になりたくない意識や、認知症の方と関わる不安が生じやすくなり、早い段階での支援介入を阻む原因となります。

「認知症になったら終わり」、「何も分からなくなる人」という間違った印象や偏見を払拭し、認知症になっても、その人の本質は変わらないこと、自分らしく住み慣れた地域で暮らすことができる、ということをこれからもお伝えしていきます。

### 認知症の方の意見、希望を踏まえた取り組み

認知症の人が必要と感じていることについて、実態を把握する方法や取り組みを検討していきます。

「認知症と共に生きる希望宣言」であるように、ご本人達は認知症になっても、自分らしく生きていくことを諦めていません。

私たちが、その気持ちを受け止め、本人らしく、より良く生きていくために、何ができるかを皆さんと一緒に考えていきます。

#### 認知症とともに生きる希望宣言

1

自分自身がとらわれている常識の殻を破り、  
前を向いて生きていきます。

2

自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを築き、  
社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。

3

私たち本人同士が、出会い、つながり、  
生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。

4

自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、  
身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。

5

認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、  
暮らしやすいまちを一緒につくっていきます。

## 認知症施策から地域共生を推進

川西市では平成30年度に認知症ケアネットを完成させました。認知症ケアネットとは、認知症の人とその家族が、地域の中でその人らしく暮らしていくために、認知症の人と家族及び地域・医療・介護・行政の人々が目標を共有し、それを達成するための連携の仕組みです。

### ～ケアネットを使えば～

このケアネットを使って、認知症になっても、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることができるようにするために、どのような取り組みができるのか、自分、家族、ご近所、商店、行政など、それぞれの立場で「できる」ことを一緒に考えることができます。



認知症は誰もがいつか経験する病気です。しかし、支援の手はすぐには出てきません。いざ手助けして欲しいと思った時、すぐに手助けが受けられるようにするにはどうすれば良いか、自分事として考え準備しておくことが大切です。

認知症の有無に関わらず、どのように暮らしたいのか考え、前もって周りの人に知っておいてもらうと良いかもしれない！



認知症になる前からの、それぞれの立場で考えられる取り組み(大小問わない)を共有し、話し合いを積み重ね、誰もが住み良いまちづくりを目指しましょう。



**認知症の人が安心して暮らせるまちは  
誰にとっても住み良いまちであるはず！**

## 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住みなれた地域で、いきいきと安心した生活が続けられるように支援する地域の総合相談窓口です。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

### ○ 主な業務内容

#### ☆ 総合相談事業

介護の仕方や認知症の方への対応をはじめとした、地域の高齢者やご家族からの多様な相談を総合的に受け止め、介護保険サービスをはじめ、様々な制度や地域の資源を活用し、総合的な支援を行います。

#### ☆ 権利擁護事業

高齢者が、様々な社会生活上の困難を抱えても、地域で自分らしく安心して生活ができるよう、高齢者の人権に関する相談に対応します。(消費者被害の防止、成年後見制度の活用、高齢者虐待の防止等)

#### ☆ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が、地域において自立した日常生活ができるよう、医療(主治医等)、福祉(ケアマネジャー等)、保健(保健師等)、地域(民生委員児童委員、地区福祉委員等)の連携により、適切な社会資源を切れ目なく活用できるよう支援していきます。

#### ☆ 介護予防ケアマネジメント事業および指定介護予防支援事業

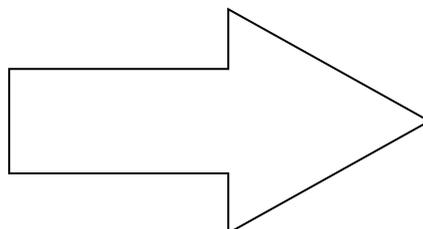
介護保険の認定を受けて事業対象者や要支援1または2になられた方、要介護状態になるおそれのある方で介護予防のためのサービスを利用する方に対して、利用者ご本人やご家族の希望を聞きながら、ご本人の状態に応じた介護予防ケアプランの作成や、作成したプランに基づいて必要な援助を行います。

#### ☆ その他

- ・認知症の相談
- ・認知症予防・介護予防教室の開催
- ・福祉サービスや介護保険の申請代行
- ・高齢者の実態把握
- ・保健福祉サービスの広報・啓発 など

ご相談がある場合は

お住まいの担当地域包括支援センターまでご相談ください。



## 川西市内の地域包括支援センター担当区域

**川西南地域包括支援センター**（加茂3丁目13-26） TEL755-3315 平日 8:45~17:30

加茂1~6丁目 久代1~6丁目 栄根2丁目（1~6番除く） 下加茂1~2丁目 東久代1~2丁目  
南花屋敷1~4丁目

**川西地域包括支援センター**（中央町15-27） TEL755-1041 平日 8:30~17:00

鶯の森町 小花1~2丁目 小戸1~3丁目 霞ヶ丘1~2丁目 綿延町 栄町  
栄根1丁目・栄根2丁目1~6番地 滝山町（8番除く） 中央町 寺畑1~2丁目 出在家町  
花屋敷1~2丁目 花屋敷山手町 萩原1丁目 日高町 火打1~2丁目 丸の内町 満願寺  
満願寺町 松が丘町 美園町

**明峰地域包括支援センター**（西多田字平井田筋5） TEL793-2703 平日 9:00~17:30

鶯台1~2丁目 鶯が丘 錦松台 滝山町8番 西多田1丁目1番・2番 西多田字上平井田  
萩原2~3丁目 萩原台東1~2丁目 萩原台西1~3丁目 南野坂1~2丁目 南野山  
湯山台1~2丁目 湯山裏

**多田地域包括支援センター**（平野1丁目39-1 協立温泉病院7F）

TEL790-1301 平日 8:30~17:00

新田1~3丁目 新田 多田院1~2丁目 多田院 多田院多田所 多田院西1~2丁目  
多田桜木1~2丁目 鼓が滝1~3丁目 西多田（明峰小学校区除く） 西多田1丁目（1・2番除く）・2丁目  
東多田1~3丁目 東多田 平野1~3丁目 平野 矢間1~3丁目 矢間東町

**清和台地域包括支援センター**（清和台東2丁目4-32） TEL799-6800（直通）・799-6200（代表）  
平日 9:00~18:00

赤松 石道 芋生 けやき坂1~5丁目 清和台東1~5丁目 清和台西1~5丁目 虫生 柳谷 若宮

**緑台地域包括支援センター**（水明台1丁目1-198） TEL792-6055 平日 9:00~17:30

向陽台1~3丁目 水明台1~4丁目 清流台 緑台1~7丁目

**東谷地域包括支援センター**（丸山台3丁目5-6） TEL790-4055 平日 8:45~17:30

国崎 黒川 下財町 笹部1~3丁目 笹部 大和東1~5丁目 大和西1~5丁目 長尾町 西畦野  
西畦野1~2丁目 一庫 一庫1~3丁目 東畦野1~6丁目 東畦野山手1~2丁目 東畦野 丸山台1~3丁目  
見野1~3丁目 緑が丘1~2丁目 美山台1~3丁目 山原1~2丁目 山原 山下町 山下 横路

**川西市中央地域包括支援センター**（中央町12-1 川西市役所1F 介護保険課内）

TEL755-7581 平日9:00~17:00

※令和3年4月1日から時間が変更になります  
（上記時間外 代表 TEL 740-1111）